

PCT

REC'D 14 OCT 2004

WIPO

PCT

## 国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 TMP-15-PCT	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/07899	国際出願日 (日.月.年) 20.06.2003	優先日 (日.月.年) 21.06.2002
国際特許分類(IPC) Int. Cl. A61B 17/28		
出願人(氏名又は名称) 株式会社ヴァーユ		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。  <input checked="" type="checkbox"/> この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属書類は、全部で <u>3</u> ページである。
3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。  I <input checked="" type="checkbox"/> 国際予備審査報告の基礎 II <input type="checkbox"/> 優先権 III <input type="checkbox"/> 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 IV <input type="checkbox"/> 発明の単一性の欠如 V <input checked="" type="checkbox"/> PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 VI <input type="checkbox"/> ある種の引用文献 VII <input type="checkbox"/> 国際出願の不備 VIII <input type="checkbox"/> 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 25.12.2003	国際予備審査報告を作成した日 17.09.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 岡崎 克彦	3E 9726
電話番号 03-3581-1101 内線 3344		

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
 PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書 第 1, 2, 4-16 ページ、出願時に提出されたもの  
 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書 第 3 ページ、21.06.2004 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 請求の範囲 第 2-5 項、出願時に提出されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 請求の範囲 第 1 項、21.06.2004 付の書簡と共に提出されたもの

☒ 図面 第 1A-3B ~~ページ~~図、出願時に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、付の書簡と共に提出されたもの

☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

## V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-5	有 無
	請求の範囲		
進歩性(IS)	請求の範囲		有 無
	請求の範囲	1-5	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-5	有 無
	請求の範囲		

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 05-184535 A (オリンパス光学工業株式会社) 1993. 07. 27, 全文, 全図

文献2: JP 08-38494 A (旭光学工業株式会社) 1996. 02. 13, 全文, 全図

文献3: WO 94/26189 A1 (BOSTON SCIENTIFIC CORPORATION) 1994. 11. 24, 全文, 全図

請求の範囲1~3, 5は、文献1と文献2とにより進歩性を有しない。文献1に記載された鉗子機構と注射針を独立して作動させることができるカテーテルに、同一の技術分野に属する文献2に記載の、鉗子機構に把持部を開閉するリンク機構、及び、把持部を閉じ方向に付勢する手段を設ける技術を適用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲4は、文献1と文献2及び文献3とにより進歩性を有しない。文献1に記載されたカテーテルに、同一の技術分野に属する文献3に記載の注射針を付勢する手段を設ける技術を適用することは、当業者にとって容易である。

を備え、前記鉗子機構が、前記把持部の移動に伴って前記把持部を開閉するリンク機構を有していることを特徴とする。

このカテーテルにおいて、鉗子機構は、近位端部にある第1操作部での操作に連動して、遠位端部にある把持部が開閉する構造になっていて、把持部の移動に伴って前記把持部を開閉するリンク機構を有している。その一例としては、例えば、カテーテルの中心に一本のワイヤを通して、そのワイヤの一端を把持部に連結し、近位端側にある第1操作部を操作してワイヤを軸方向に沿って往復運動させると、ワイヤに押された際に把持部が開き、ワイヤに引っ張られた際に把持部が閉じるといった構造を考えうる。

注射機構は、近位端部にある第2操作部での操作に連動して、遠位端部にある注射針が遠位端部から突出する位置まで前進、遠位端部の内部に収納される位置まで後退する構造になっていて、且つ、注射針で目標部位を穿刺して注入物を目標部位に注射可能な構造になっていれば、細部の具体的な構造については任意である。一例としては、カテーテルの中心に一本のチューブを通して、そのチューブの一端を注射針に連結し、近位端側にある第2操作部を操作してチューブを軸方向に沿って往復運動させると、チューブとともに注射針が往復運動し、その前進時に注射針が遠位端部から突出し、後退時に注射針が遠位端部内に収納される、といった構造を考え得る。この場合、チューブの内腔は、注射針へ注入物を供給するための注入物供給路として利用できる。また、チューブと平行にワイヤを設けて、注射針の前進／後退はワイヤを往復運動させることで実施し、チューブは注入物供給路として利用するだけにしてもよい。このようなチューブを設けた場合は、

## 請 求 の 範 囲

1. (補正後) 体外から体腔内に挿入されて、近位端部を体外に残したまま、遠位端部を目標部位に到達させて使用されるカテーテルであって、

5 前記近位端部に第1操作部、前記遠位端部に把持部を有し、前記第1操作部での操作に連動して前記把持部が開閉する構造で、前記把持部で前記目標部位を把持可能な鉗子機構と、

前記近位端部に第2操作部、前記遠位端部に注射針を有し、前記第2操作部での操作に連動して前記注射針が前記遠位端部から突出する位置まで前進、または前記遠位端部の内部に収納される位置まで後退する構造で、前記注射針で前記目標部位を穿刺して注入物を前記目標部位に注射可能な注射機構と

を備え、

前記鉗子機構が、前記把持部の移動に伴って前記把持部を開閉するリンク機構を有していることを特徴とするカテーテル。

2. 前記鉗子機構が、バネの力で前記把持部を閉じる方向へ付勢する構造とされている

ことを特徴とする請求の範囲第1項に記載のカテーテル。

3. 前記把持部を開閉不能な状態にする鉗子機構ロック手段を備えている

ことを特徴とする請求の範囲第1項または請求の範囲第2項に記載のカテーテル。

4. 前記注射機構が、バネの力で前記注射針を後退させる方向へ付勢する構造とされている

25 ことを特徴とする請求の範囲第1項～請求の範囲第3項のいずれかに記載のカテーテル。

5. 前記注射針を進退不能な状態にする注射機構ロック手段を備えている

ことを特徴とする請求の範囲第1項～請求の範囲第4項のいずれかに記載のカテーテル。

5

Translation

PATENT COOPERATION TREATY

PCT/JP2003/007899



# PCT

## INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Article 36 and Rule 70)

Applicant's or agent's file reference TMP-15-PCT	<b>FOR FURTHER ACTION</b> See Notification of Transmittal of International Preliminary Examination Report (Form PCT/IPEA/416)	
International application No. PCT/JP2003/007899	International filing date (day/month/year) 20 June 2003 (20.06.2003)	Priority date (day/month/year) 21 June 2002 (21.06.2002)
International Patent Classification (IPC) or national classification and IPC A61B 17/28		
Applicant K.K. VAYU		

1. This international preliminary examination report has been prepared by this International Preliminary Examining Authority and is transmitted to the applicant according to Article 36.

2. This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.

☒ This report is also accompanied by ANNEXES, i.e., sheets of the description, claims and/or drawings which have been amended and are the basis for this report and/or sheets containing rectifications made before this Authority (see Rule 70.16 and Section 607 of the Administrative Instructions under the PCT).

These annexes consist of a total of 3 sheets.

3. This report contains indications relating to the following items:

- I ☒ Basis of the report
- II ☐ Priority
- III ☐ Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability
- IV ☐ Lack of unity of invention
- V ☒ Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement
- VI ☐ Certain documents cited
- VII ☐ Certain defects in the international application
- VIII ☐ Certain observations on the international application

Date of submission of the demand 25 December 2003 (25.12.2003)	Date of completion of this report 17 September 2004 (17.09.2004)
Name and mailing address of the IPEA/JP	Authorized officer
Facsimile No.	Telephone No.

## INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP2003/007899

## I. Basis of the report

## 1. With regard to the elements of the international application:\*

- ☐ the international application as originally filed
- ☒ the description:  
pages 1, 2, 4-16, as originally filed  
pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
pages 3, filed with the letter of 21 June 2004 (21.06.2004)
- ☒ the claims:  
pages 2-5, as originally filed  
pages \_\_\_\_\_, as amended (together with any statement under Article 19  
pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
pages 1, filed with the letter of 21 June 2004 (21.06.2004)
- ☒ the drawings:  
pages 1A-3B, as originally filed  
pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_
- ☐ the sequence listing part of the description:  
pages \_\_\_\_\_, as originally filed  
pages \_\_\_\_\_, filed with the demand  
pages \_\_\_\_\_, filed with the letter of \_\_\_\_\_

## 2. With regard to the language, all the elements marked above were available or furnished to this Authority in the language in which the international application was filed, unless otherwise indicated under this item.

These elements were available or furnished to this Authority in the following language \_\_\_\_\_ which is:

- ☐ the language of a translation furnished for the purposes of international search (under Rule 23.1(b)).
- ☐ the language of publication of the international application (under Rule 48.3(b)).
- ☐ the language of the translation furnished for the purposes of international preliminary examination (under Rule 55.2 and/or 55.3).

## 3. With regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application, the international preliminary examination was carried out on the basis of the sequence listing:

- ☐ contained in the international application in written form.
- ☐ filed together with the international application in computer readable form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in written form.
- ☐ furnished subsequently to this Authority in computer readable form.
- ☐ The statement that the subsequently furnished written sequence listing does not go beyond the disclosure in the international application as filed has been furnished.
- ☐ The statement that the information recorded in computer readable form is identical to the written sequence listing has been furnished.

4. ☐ The amendments have resulted in the cancellation of:

- ☐ the description, pages \_\_\_\_\_
- ☐ the claims, Nos. \_\_\_\_\_
- ☐ the drawings, sheets/fig \_\_\_\_\_

5. ☐ This report has been established as if (some of) the amendments had not been made, since they have been considered to go beyond the disclosure as filed, as indicated in the Supplemental Box (Rule 70.2(c)).\*\*

\* Replacement sheets which have been furnished to the receiving Office in response to an invitation under Article 14 are referred to in this report as "originally filed" and are not annexed to this report since they do not contain amendments (Rule 70.16 and 70.17).

\*\* Any replacement sheet containing such amendments must be referred to under item 1 and annexed to this report.



## INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP 03/07899

**V. Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement****1. Statement**

Novelty (N)	Claims	1-5	YES
	Claims		NO
Inventive step (IS)	Claims		YES
	Claims	1-5	NO
Industrial applicability (IA)	Claims	1-5	YES
	Claims		NO

**2. Citations and explanations**

Document 1: JP 05-184535 A (Olympus Optical Co., Ltd.), 27 July 1993, entire text; all drawings

Document 2: JP 08-38494 A (Asahi Optical Co., Ltd.), 13 February 1996, entire text; all drawings

Document 3: WO 94/26189 A1 (Boston Scientific Corporation), 24 November 1994, entire text; all drawings

The invention set forth in claims 1 to 3 and 5 does not involve an inventive step in the light of documents 1 and 2. It would be easy for a person skilled in the art to apply the feature described in document 2, which belongs to the same technical field as document 1, wherein a link mechanism which opens and closes the clamp mechanism and a means of orienting the holding portion in a closing direction, are provided, to the catheter set forth in document 1, wherein it is possible to independently operate the clamp mechanism and the injection needle.

The invention set forth in claim 4 does not involve an inventive step in the light of documents 1, 2 and 3. It would be easy for a person skilled in the art to employ the feature described in document 3, which belongs to the same technical field as document 1, wherein a means of

INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

International application No.

PCT/JP 03/07899

orienting an injection needle is provided, to the catheter  
set forth in document 1.